

1 図書館政策の充実を

(1) (仮称) 子ども図書館基本構想が策定され、今後構想に基づき豊田図書館の改修が進められていく。子育て相談機能を備え、すべての世代が親しみ交流し、使いたくなる図書館を目指すとのことである。

① 基本構想の概要、今後のスケジュールについて伺う。

② (仮称) 子ども図書館は、すべての世代が親しみ交流し、すべての世代が使いたくなる図書館を目指すとのことである。利用者数、図書館への交通アクセスをどのように考えているのか伺う。

③ 雑誌・新聞・一般図書の扱いはどのように検討されたか伺う。

④ 職員体制、運営について伺う。

(2) 日本図書館協会が司書の専門性の向上に不可欠な図書館における実務経験や実践的知識・技能を継続的に修得した者を評価し、公立図書館及び私立図書館の経営の中核を担いうる司書として公的に認定することを趣旨として行っている認定司書制度がある。2017年度までに全国で135名認定されているとのことである。職員のレベルアップが図書館サービスの向上につながると考える。

① 認定司書に対する認識と意義について伺う。

② 図書館職員の専門性を高め、地位向上のためにどのような取り組みがなされているのか伺う。

③ 図書館職員の多くは嘱託職員である。図書館の質の向上のためには、非正規職員の待遇改善が必要だと考える。見解を伺う。

(3) 日本図書館協会が昨年8月、図書館を設置する全国1,361の都道府県と市区町村に「自治体総合計画等における図書館政策の位置づけ」についてアンケートを行っている。回答のあった1,049自治体のうち、まちづくりや地域振興に役立つ目的で事業を行っていると答えた図書館は、497自治体あり、事業として597事業の回答があった。

① アンケートに対する磐田市の対応を伺う。

② アンケート調査では具体的な事業例の回答もあり、例えば、岩手県紫波町では、図書館が農家と消費者などの交流行事や農業に関するデ

ータベースの講習会を開くなど農業支援を掲げている。福岡県立図書館（福岡市）では、育児中の女性向けの就業相談会や、定年後のシニア世代向けに起業やボランティアに関するセミナーも行っている。こうした事業に関する見解を伺う。

2 環境問題の課題

- (1) 一般廃棄物の焼却施設（ごみ処理場）クリーンセンターには、24時間稼働の焼却炉2基と、灰溶融炉1基がある。灰溶融炉の利点は、焼却灰の容積を小さくして埋却地を節約する、熔融スラグを建築資材として民間に売れるとされ、国が建設を推奨した。しかし、膨大な電気や重油などのエネルギーが必要であり問題がある。交付金を受けて灰溶融炉を建設したものの全国では灰溶融炉を使用しない自治体も増えている。磐田市の現状と課題について伺う。
- (2) 家庭系生ごみの資源化は地球温暖化対策の観点からも進めなければならないと考える。生ごみバイオガス化事業に関する見解を伺う。
- (3) 中遠広域一般廃棄物最終処分場にかわる新たな処分場検討状況と課題について伺う。
- (4) このところ台風や集中豪雨などの大規模災害が増えている。一時的に大量発生する災害廃棄物等に対応するために、県や近隣市町と連携して処理を行ったり広域で処理を行うことが必要になる。どのような計画があるのか。現状と課題を伺う。
- (5) 海岸に近く津波の心配もあり、老朽化している磐田市聖苑（火葬場）の現状と、今後の火葬場計画について伺う。

3 中泉地域のまちづくり

- (1) 現市民文化会館と文化振興センターの跡地利用についてどのように検討されているのか伺う。
 - ① 市民文化会館跡地の活用について、調査を行うとのことである。調査の状況について伺う。
 - ② 跡地利用は、市民の声を聴くなかで検討すべきだと考える。見解を伺う。
- (2) 市は旧ユニー跡地にある公共不動産のテナント事業者を募集している。多くの方が集い、活気あふれる場所になるよう飲食店や小売店など、にぎわいづくりの観点で出店できる事業者を募集しているとのことである。
 - ① 募集の条件や応募の状況について伺う。
 - ② ジュビロード駅前商店街の活性化にどのようにつながると考えているか伺う。
- (3) 老朽化した中部幼稚園と西幼稚園を統合した（仮称）中泉こども園整備事業が計画されている。今年度に基本・実施設計を行うとのことである。
 - ① 計画に至った経過、基本設計・実施設計の内容について伺う。
 - ② 新たなこども園の規模、体制について伺う。
 - ③ 計画には保護者、学校関係者、住民の意見が反映されることが必要である。見解を伺う。